

Fund Report

日本成長テーマフォーカス（愛称：グランシェフ）

追加型投信／国内／株式 ※課税上は株式投資信託として取扱われます。

－投資テーマの新設・入れ替えのお知らせ－

日頃より弊社ファンドをご愛顧賜り誠にありがとうございます。

当ファンドは、企業成長が見込める投資テーマに注目し、投資テーマに関連するわが国の株式に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指すファンドです。なお、投資テーマは、大和住銀投信投資顧問が独自に設定し、適宜または将来において入れ替えを行います。

当ファンドでは、足元で新規に投資テーマを設定しテーマの入れ替えを行いましたので、運用状況とともにご紹介いたします。

<投資テーマの新設・入れ替えについて>

当ファンドでは、経営カテゴリーとして、「経営者のクオリティ」を取り上げてきました。世界の動向などにも注意を払いながら調査を進める中で、世界最大の問題が、最大のビジネスチャンスであり、投資機会を生み出す大きな動きになる可能性があるとの考えに至りました。そこで、「経営者のクオリティ」に代わり、「インパクト投資」を新規のテーマとして採用させていただきました。

カテゴリー	投資テーマ
技術力	新素材
	生産性向上
	バイオの成長
	省エネ技術の拡大
海外戦略	情報革命
	グローバル需要の成長の取り込み
	消費市場としてのアジア
日本再構築	インフラ再構築
	国内設備投資の回復
	AIで進む経営革新
	キャッシュレス社会と金融革命
トレンド対応力	働き方の多様化
	消費トレンドの変化
	ネット社会の進化
経営力	経営者のクオリティ
	コーポレートリフォーム
	M&Aによる成長
	インパクト投資

※「カテゴリー」および「投資テーマ」は、大和住銀投信投資顧問が設定したもので、適宜または将来において入れ替えを行います。

➡ 削除

➡ 新規採用

（次頁へ続く）

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、ファンドマネージャー等の見方あるいは考え方を記載したもので、当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。

5ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

1/6

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわずみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

Fund Report

日本成長テーマフォーカス 愛称：グランシェフ

「インパクト投資」とは、世界的に気運が高まっているESG投資手法（環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）の要素を考慮する投資手法）のなかで「運用収益の獲得と社会的インパクトの創出（社会の構造変化）の両立を意図して」投資判断を行うものです。具体的には我々の子供や孫の世代に先送りできない社会的な課題の解決に取り組むこと、その市場で成長する企業への投資を指します。

世界的に先送りできない課題といえば、地球温暖化です。昨今の自然災害を見れば、異常気象が増加していることは疑いようがなく、適切なエネルギー政策が求められます。ますます火力から太陽、風力、水力、バイオマスなど再生可能エネルギーの拡充が求められるでしょう。

この面で活躍が期待できる銘柄としては、「エフオン」が挙げられます。同社はFIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）付バイオマス発電所の建設・運営を主力としています。

福島県の白河と、大分県の日田および豊後大野で

発電所を運転、足もとでは栃木県の壬生と和歌山県の新宮での開発に取り組んでいます。

国内材を100%利用した出力1-2万kWの比較的小規模なプラントを操業する点に特色があり、稼働率の高さと買取価格の高い未利用材の燃料における利用率の高さが特徴です。中期的に同社プラントの稼働率は大きく上昇すると考えており、同社の利益成長を牽引することを期待しています。

他にも、日本の社会的な課題といえば、人口構造の変化です。当ファンドでは高齢化問題と並んで、ダブルケア問題にも注目しています。いわゆる働き盛りの30-40代が、育児と介護に直面する問題で、女性の社会進出が進むにつれて、さらにこの問題を解決、サポートするようなサービスが広がるのではないのでしょうか。

当ファンドでは、すでに評価が定まりつつある介護関連だけでなく、このような構造変化をビジネスチャンスとしてとらえる企業、恩恵をうける企業も積極的に発掘し、投資していきたいと考えています。

※上記の企業は、参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。なお、上記の企業は2018年8月20日現在、当ファンドに組み入れておりますが、今後、ファンドへの組み入れを保証するものではありません。※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、ファンドマネージャー等の見方あるいは考え方を記載したもので、当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用状況＜基準価額・純資産総額の推移 設定日（2017年1月27日）～2018年8月17日＞

■ 基準価額等の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。※分配金再投資基準価額および騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示。※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※分配可能額（分配対象額）が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ 基準価額・純資産総額

基準価額	10,896円
純資産総額	28億円

(2018年8月17日現在)

■ 騰落率

設定来騰落率	20.2%
--------	-------

(2018年8月17日現在)

5ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

2/6

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本成長テーマフォーカス
愛称：グランシェフ

ご参考

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

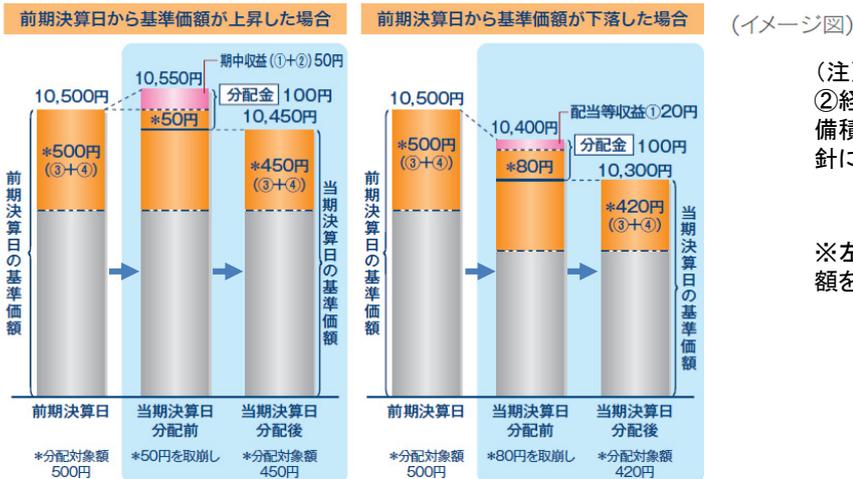
投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。

- この場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

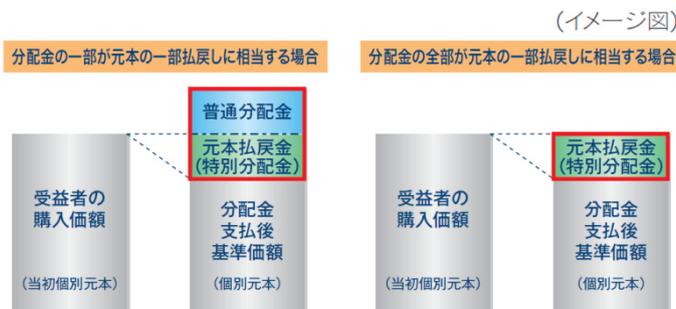
分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※左記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。普通分配金: 個別元本(投資者のファンド購入価額)を上回る部分からの分配金です。元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(注)普通分配金に対する課税については、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

※上記は投資信託における「収益分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

5ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

3/6

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本成長テーマフォーカス
愛称：グランシェフ

<ファンドの目的>

当ファンドは、わが国の株式に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

<ファンドの特色>

特色

1

企業成長が見込める投資テーマに注目し、投資テーマに関連するわが国の株式（上場予定を含みます。）に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

- 投資テーマは、大和住銀投信投資顧問が独自に設定し、適宜または将来において入れ替えを行います。

特色

2

銘柄選定にあたっては、綿密な企業調査に基づくボトムアップ・アプローチにより、株価成長が見込める銘柄を厳選します。

- **AI（人工知能）を活用することで、効率的に調査候補銘柄を抽出します。**

特色

3

年1回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。

- 決算日は、毎年1月26日（休業日の場合は翌営業日）とします。
- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
- 収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

Fund Report

日本成長テーマフォーカス
愛称：グランシェフ

<投資リスク（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

- 当ファンドは、株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- お申込みの際には、販売会社からお渡しします「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 基準価額を変動させる要因として主に、○株価変動に伴うリスク ○流動性リスク ○信用リスク があります。ただし、上記はすべてのリスクを表したものではありません。

<ファンドの費用（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

投資者が直接的に負担する費用										
購入時手数料	購入価額に 3.24% (税抜 3.0%) を上限として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。 ※詳細については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。 購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。									
信託財産留保額	ありません。									
投資者が信託財産で間接的に負担する費用										
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に 年率 1.5552% (税抜 1.44%) を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。 <運用管理費用(信託報酬)の配分>									
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>年率0.70%(税抜)</td> <td>ファンドの運用等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年率0.70%(税抜)</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年率0.04%(税抜)</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価</td> </tr> </tbody> </table>	委託会社	年率0.70%(税抜)	ファンドの運用等の対価	販売会社	年率0.70%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	年率0.04%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
委託会社	年率0.70%(税抜)	ファンドの運用等の対価								
販売会社	年率0.70%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価								
受託会社	年率0.04%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価								
その他の費用・手数料	財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料等は信託財産から支払われます。 ※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。									

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

5ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

5/6

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

日本成長テーマフォーカス
愛称：グランシェフ

<お申込みメモ（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

- 信託期間 2017年1月27日～2027年1月26日（10年）
- 購入単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の基準価額
- 換金単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額 換金申込受付日の基準価額
- 換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として4営業日目からお支払いします。
- 決算日および 毎年1月26日（該当日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配 年1回の決算時に分配を行います。
※分配対象額が少額な場合等には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

<投資信託に関する留意点>

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。
投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

<委託会社およびその他の関係法人>

- 委託会社（ファンドの運用の指図を行う者）
大和住銀投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第353号
加入協会／一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会
- 受託会社（ファンドの財産の保管及び管理を行う者）
三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社

取扱販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社足利銀行	登録金融機関	○		○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	○		○	○
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	○			
日の出証券株式会社	金融商品取引業者	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	○			
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	○			

(50音順)

5ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

6/6

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。